

大問一

【全問を通して】

- ・制限字数の半分に満たないものは不可。
- ・誤字・脱字・不適切な表記等は1点を減じ、ひとつの解答において同意語句で複数回同じ誤字があった場合は一回のみ減じることとする。
- * 解答例の冒頭の数字はモニターの整理番号である。

問1 7点

- 1 自伝 2 徹底 3 挿画 4 我慢 5 甘言 6 風刺 7 嫉妬

問2 8点

模範解答

A○4点

常に自分をその時代の正義派の側に位置させて正義を振りかざし、

B○4点

そのおかしさに気づかないということ。(48字)

【A・Bに関して部分採点を行う】

A 「正義の側において正義を振りかざす」もしくは「自分なりの正義を持たずに正義を振りかざす」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。「正義を振りかざす」は、そこまで踏み込んだ記述が望ましいが、「正義による行動」が読み取れば可とする。「正義派に位置して生きている」は4点

※正義派に位置することは読み取れなくても行動が読み取れないものは△2点

B 「おかしさに気づかない」や「滑稽さに気づかない」といった「裸の王様」の意味の説明が適切に記述されていれば4点を加える。

問3 8点

模範解答

B○4点

子供の描いた滑稽な絵で、自分を含めた大人たちの偽善が子供に見事に見抜かれていることがわかったから。(49字)

A○4点

【Aを必答として、A・Bに関して部分採点を行う】

A 「自分を含めた大人の偽善が子どもに見抜かれている」「自分を含めた大人の偽善を子どもが見抜いている」について確実に書かれていれば4点を加える。「自分を含めた」の記述がなければ2点とし、Aそのものの記述がなければ不可とする。

B 「子供の絵を見てわからされたから」「子供の絵を見てわかったから」という記述が適切に表現されていれば4点を加える。

問4 12点

模範解答

A○4点

B○4点

偽善の横行で世の客観的判断が失われ、疑惑が支配する妄想性人格障害的空間になり、社会の願望に従うことが強要される病理的空間で人が生きること。(69字)

C○4点

【A・B・Cに関して部分採点する】

A 「偽善によって客観的判断が失われた」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。

B 「偽善によって」疑惑の支配する(妄想性)人格障害的な空間になる」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。傍線部のいずれかを欠いた場合や説明不足の場合は2点とする

C 「社会の願望に従うことが強要される病理的空間で人が生きること」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。傍線部を欠いた場合は説明不足として2点とする。

問5 15点

模範解答

A○3点

世の中の嘘を暴いて偽善を批判するにしても、権力者を批判するにしても、

B○4点

感情的な思いでそのようにするのはなく、

C○4点

時流におもねることなく物事の本質を理解して、

D○4点

良心をもって行わなければいけないと考えている。(99字)

【A・B・C・Dに関して部分採点をする】

A 「偽善への批判」と「権力者への批判」を並列して述べていれば3点を加える。並列していなければ不可とする。

B 「感情的な思いを持たない」ということが適切に記述されていれば4点を加える。「嫉妬心をもたない」や「ジェラシーをもたない」などの文中の具体的な記述も可とする。

C 「本質を理解していること」ということが適切に記述されていれば4点を加える。また「時流におもねらない」「時代に流されない」といった表現のみにとどまる記述も可とする。

D 「良心をもってふるまうべき」を明確に記述していれば4点を加える。

※自分の正義に従う等も可

大問2

問一 8点

模範解答

A〇3点

B〇5点

自由とは

与えられた身体や精神の条件を生かして

力を発揮できること。

(32字)

【A・Bに関して部分採点をする】

A 解答の柱として「自由とは…力を発揮できること」という形を明確に記述していれば3点を加える。

B 「与えられた身体や精神の条件を生かす」ことが適切に記述されていれば5点を加える。

問二 10点

模範解答

A〇5点

B〇5点

動作を試し 自分にも未知の身体や精神の必然性を知ることです。少しづつ自由になれるから。(40字)

【A・Bに関して部分採点をする】

A 「動作を試すこと」で(知ることにより)自由になれる」という趣旨が適切に記述されていれば5点を加える。また「自由であるためには…大切/必要だ」という記述も可とする。※実験しながら・実験を通して等も可

B 「(自分にとって)未知の身体や精神の必然性を知ること」が適切に記述されていれば5点を加える。

問三 10点

模範解答

A〇5点

B〇5点

人は外部の原因に支配されており、その人の持つ身体や精神に従えない状態。(35字)

【A・Bに関して部分採点をする】

A 「人は外部の原因に支配されている」趣旨が適切に記述されていれば5点を加える。

※外部の原因にその人の本質が踏みこじられている・圧倒されているも可。外部の原因によって心身の条件が無視され何かを押し付けられているも可

B 「人はその人の持つ身体や精神に従えない」趣旨が適切に記述されていれば5点を加える。

問四 10点

模範解答

A○5点

人の精神や行為が、外部の強制によって支配されることなく、

B○5点

自らの内部の欲求に従って能動的に働き、能動的にふるまうこと。(58字)

【A・Bに関して部分採点をする】

A 「人の精神が外部に強制されない」趣旨が適切に記述されていれば5点を加える。

B 「欲求に従って能動的にふるまう」趣旨が適切に記述されていれば5点を加える。ただし「欲求」について、または「能動的」について、それぞれに不備がある、もしくはいずれかの記述にとどまれば2点減じて3点加える。

問五 12点

模範解答

A○4点

人は、自己の身体的・精神的な必然性に従うことで制約を生かし、

B○4点

自己を抑圧する外部の原因に振り回されず、

C○4点

自己の本性に従い、自己を生かして生きることができから。(78字)

【A・B・Cに関して部分採点をする】

A 「人が身体や精神の必然性に従うことで制約を生かす」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。ただし「制約を生かす」まで言及していない場合は不可とする。

B 「抑圧する外部の原因に振り回されない」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。

※与えられた心身の条件・身体や精神の条件を生かすも可

C 「本性に従って自己を生かす／発揮する」という趣旨が適切に記述されていれば4点を加える。

※能動的に生きる等も可

大問三

問一 (3点×3)

問一・イ・模範解答例

どこでもよいからいなくなってしまうたい。

【各部の採点】 3点満点。加ポイント2箇所。

a 「どこでもよいから」………1点。「どこでも」「どこでも」「どこでも」「どこでも」「どこでも」のような場所を指し示す内容の解答。

b 「いなくなってしまうたい」………2点。「消えてしまいたい」も可能。「いなくなる」＋完了＋自己の願望。減点法。

※いなくなる・完了・事故の自己の願望の三つのうち一つ間違うごとに一点減点。ただし二点を越えて減点はしない

a (1点)

b (2点)

問一・ハ・模範解答例

やはり決して、この世は思い捨てることはできそうもない。

【各部の採点】 3点満点。加ポイント2箇所。

a 「やはり決して」………1点。「やはり」＋「けっして・まったく」の解釈。完答。

b 「思い捨てることはできそうもない」………2点。「思い捨てる」＋不可能＋推量。「思い捨てることはできない」のように推量の意味の感じ取れないものは1点。

a (1点) b (1点) c (1点)

問一・ホ模範解答例

自然とその男はまたきつとここに言いに来るだろう。

【各部の採点】 3点満点。加ポイント3箇所。

a 「自然と」………1点。「ひとりで」「相手から」も可。

b 「その男は」…1点。「言いに来る」の主体を補うこと。

c 「きつとここに言いに来るだろう。」…1点。「きつとくだろう」の強意＋推量。完答。

問二 (6点)

a (1点)

b (2点)

問二・模範解答

筆者の、どんなにつらく感じる時でも白く美しい紙や上等な筆などを手

c (3点)

に入れるともう少し生きていたいと感じてしまうという心情。(六〇字)(6点)

【各部の採点】6点満点。加ポイント3箇所。四八字以下の解答は内容が正しくても2点の減点。

a 「筆者の」という心情」…1点。文頭と文末の表現。ただしこの箇所だけ正解では加点無し。

b 「白く美しい紙や上等な筆などを手に入れると」…2点。このように具体的に条件が示されていること。

※具体的な説明がない場合は1点減点

c 「もう少し生きていたいと感じてしまう」…3点。「生きていたくなる」という内容。

問三 (5点)

a (1点)

問三・模範解答例

「見捨てられ姨捨山で月を見ながら心を慰めかねた老婆に比べれば、

b (1点)

c (2点)

d (1点)

清少納言は実に些細なことで気がまぎれるのだなあと言っている。(六〇字)(5点)

【各部の採点】5点満点。加ポイント3箇所。四〇字以下の解答は内容が正しくても2点の減点。

a 「見捨てられ姨捨山で月を見ながら心を慰めかねた老婆に比べれば」…1点。姥捨山で心を癒すことができなかつた人と違ってという内容。

b 「清少納言は」…1点。中宮定子が話している相手が清少納言であることを明示すること。ただしこの箇所だけでは加点無し。

c 「実に些細なことで気がまぎれる」…2点。簡単に気分転換をすることができるとい

容。

d 「と言っている。」…1点。文末処理。「ということ。」でも良い。ただしこの箇所のみ正解では加算無し。

問四 (5点)

a (2点)

b (2点)

問四・模範解答例

中宮様に内緒で清少納言に内情を明かしたことを他言しないように

c (1点)

と告げている。(5点)

【各部の採点】 5点満点。加算ポイント3箇所。

a 「中宮様に内緒で清少納言に内情を明かしたことを」…2点。中宮定子に言われていた禁をやぶったという内容。

b 「他言しないように」…2点。他言無用の内容。

c 「と告げている」……………1点。文末処理。「ということ。」でも良い。ただしこの箇所

だけ正解では加算しない。

大問四 漢文 二十五点

問一

各2点×4＝計8点

a ㊦や b ㊦なんぞや (と) c ㊦かつ d ㊦かくのごとくんば

▼いずれも解答通り。

▼(と)の有無は不問。

問二

5点

A つねには / せいべうなるをえざるなり

●以下のように、二分割して採点。

① つねには

2点

② せいべうなるをえざるなり

3点

▼①↓②の順序になっていない場合は全体として加点なし。

▼句点「。」の有無は不問。

▼①は解答通り。

▼②は「せいべうなるをえず」も可。

問三

5点

すぐれた才能や高潔な操行の持ち主だとしても、 / 聡明な知恵で適切な行動
を選べないようでは、 / 愚かで操行のよくない人間と実態は変わらないのだ。

●以下のように、三分割して採点。

① すぐれた才能や高潔な操行の持ち主だとしても、

1点

② 聡明な知恵で適切な行動を選べないようでは、

2点

③ 愚かで操行のよくない人間と実態は変わらないのだ。

2点

※①の加点条件は、「高才潔行有るも」を「すぐれた才能や高潔な操行の持ち主だとしても」「高い才能と立派な品行を持っていても」「優れた才能を持ち清廉な行動をとっていても」などと適切に解釈していること。単に「優れた才能があっても」程度

は不可。「高才」と「潔行」の両方に触れなければならない。

※②の加点条件は、「知明にして以て之を設施する無ければ則ち」を「聡明な知恵で適切な行動を選べないようでは」「すぐれた知恵で臨機応変に行動できないならば」などと適切に解釈していること。単に「正しく行動できない」「知恵にもとづいて行動しない」程度では不可。(仁愛・能弁・勇敢に縛られて)臨機応変に行動できない、計画的に力を使いこなせない、といった要素が必須である。

▼「之を」の内容に触れていなくとも可。

※③の加点条件は、「愚にして操無き者と同じく一実なり」を「愚かで操行のよくない人間と実態は変わらない」「愚かで節操のない連中と同じだ」などと適切に訳していること。

問四

7点

賢人は時勢に応じて清濁両面の行動を取り、／時には節を曲げて道徳に反する行為もするので、／立派な行為ばかりで欠点がない人間は賢人とは言えないということ。

●以下のように、三分割して採点。

- | | |
|-----------------------------------|----|
| ① 賢人は時勢に応じて清濁両面の行動を取り、 | 2点 |
| ② 時には節を曲げて道徳に反する行為もするので、 | 2点 |
| ③ 立派な行為ばかりで欠点がない人間は賢人とは言えないということ。 | 3点 |

※①・②・③の順序は不問。どんな形であれ、①・②・③の要素に触れていれば可。

※①は「賢人は時勢に応じて」清濁両面の行動を取る」に触れていれば加点。

▼「時勢に応じて」「臨機応変に」の要素が抜けていれば不可。

※②は「(賢人は)時に節を曲げて道徳に反する行為もする」に触れていれば加点。

▼「節を曲げて」に触れていなくとも可。

※③の加点条件は、「立派な行為ばかりで欠点がない人間は賢人とは言えないということ」に触れていれば加点。

▼「立派な行為ばかり」には触れていなくとも可。「非の打ち所がない人間は賢人とは言えない」「欠点がない何一つない人間は賢人ではない」という点に触れていればよい。